



## 防衛省専門職

あなたが輝く場所

採用パンフレット  
防衛省専門職採用試験

詳しくは防衛省ホームページ  
(QRコード)で御覧頂けます。

防衛省職員  
採用情報 ⇒



## 目次

- ◆ 日米交流事業「IWAKUNI日米交流合同コンサート」開催
- ◆ 第7回 艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト(仮称)整備協議会開催
- ◆ 米海兵隊岩国航空基地セーフティブリーフィング
- ◆ 令和2年度日米共同統合防災訓練(02TREX)
- ◆ 島根県国民保護共同訓練
- ◆ 中国四国防衛局防災応急対処訓練
- ◆ 小型無人機等飛行禁止法に基づく対象防衛施設の指定について
- ◆ 米軍再編に係る航空機訓練移転について
- ◆ 米海兵隊岩国航空基地の新型コロナウイルスに対するワクチン接種状況
- ◆ 中国四国防衛局の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
- ◆ 日米親善リレーマラソン2020 in 岩国
- ◆ 海上自衛隊 幹部自衛官御挨拶
- ◆ 令和2年度 局長感謝状贈呈(米子市長)
- ◆ 中国四国防衛局 津山防衛事務所のご紹介
- ◆ 中国四国防衛局 職員日記(津山防衛事務所)
- ◆ 中国四国防衛局 職員日記(総務部)
- ◆ 企画部の組織変更について





## 日米交流事業「I W A K U N I 日米交流合同コンサート」開催

令和3年2月27日、初めての試みとなるオンライン方式による、中国四国防衛局主催「I W A K U N I 日米交流合同コンサート」を開催しました。

このコンサートは、米海兵隊岩国航空基地周辺の住民の方々と基地関係者の相互理解を深めるため開催しており、今回で11回目の開催となりました。



(森田中国四国防衛局長 挨拶)



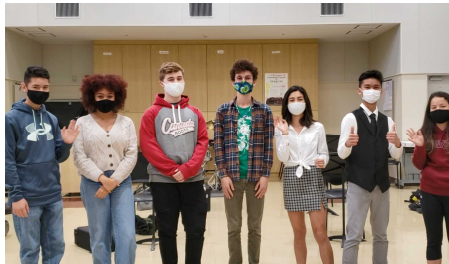
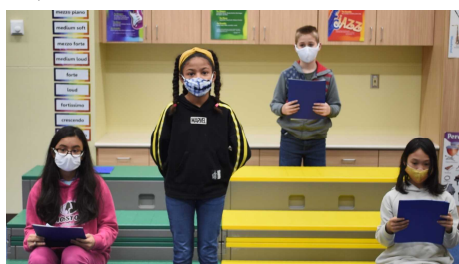
(福田岩国市長 挨拶)



(ルイス岩国基地司令官 挨拶)

本年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでのホールにおける開催ではなく、テレビ会議システムを使用して、岩国市立高森小学校、大竹市立小方中学校、周防大島町立沖浦小学校の各校をオンライン中継で結び、あわせて、事前収録した和木町立和木中学校の各校がこの日のために練習してきた成果をそれぞれ披露しました。

米海兵隊岩国航空基地M.C.ペリー・ハイスクール、イワクニ・ミドルスクール及びイワクニ・エレメンタリースクールは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回残念ながら中継での演奏参加はできませんでしたが、事前収録による各校の児童・生徒たちからの応援メッセージ映像での参加及び日本側の演奏をYouTube限定配信での視聴によって、日米合わせて約130名に参加していただきました。



コンサートの最後を飾ったのは、日本側参加校による米側の児童・生徒たちへの友情の気持ちを込めた「We Are The World」の同時演奏で、大いにコンサートを盛り上げました。

中国四国防衛局では、今後も米海兵隊岩国航空基地の周辺地域の方々と米軍人・軍属及びその家族との相互理解を図ることを目的として、引き続き日米交流事業を実施してまいります。





## 第7回 艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト (仮称) 整備協議会開催

政府の「まち・ひと・しごと創生本部」の政府関係機関移転の一環として、岩国市通津沖工業団地内で整備を進めている水中無人機等の試験評価施設「防衛装備庁艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト（仮称）」について、令和3年2月17日、山口県、岩国市及び防衛省（防衛装備庁、当局）による第7回整備協議会がリモート形式で開催されました。



整備協議会の様子（中国四国防衛局）

### 整備協議会の様子



整備協議会の様子（岩国市）

今回の協議会で、当局は、主要な工事を本年8月に、一部の外構工事等を11月に完成させる予定である旨説明しました。

防衛装備庁からは、本年8月に大型タンク（縦35m×横30m×深さ11m）の引渡しを受け、9月より職員が常駐予定であること、これに伴い「仮称」が外れ正式名称となること、職員7名のほか非常勤職員を数名採用予定であること、準備作業を進めて本年内に開所式を行った後に本格運用を開始すること等を説明しました。

山口県からは、予算案に本施設を活用した産業振興に係る経費を計上したこと、令和4年度に本施設を会場として「水中ロボットコンテスト」の開催を考えていることなどの説明がありました。



試験棟1

### 試験棟1及び受電所の施工状況



受電所

同試験評価施設については、今年の運用開始後も、シミュレーション装置等を順次整備する計画です。



## 米海兵隊岩国航空基地セーフティブリーフィング

年末の長期休暇を前に米海兵隊岩国航空基地所属の海兵隊員の安全意識向上を図るため、令和2年11月12日、同基地主催の「セーフティブリーフィング」が今回はオンラインで開催され、福田岩国市長、森田中国四国防衛局長が英語でビデオメッセージを寄せました。

森田局長からは、日米の交通規則の違いや事件・事故の地域社会への影響に触れつつ、飲酒運転の根絶などの重要性、任意保険加入の必要性等を説明し、また、地域住民との交流の意義を伝えました。そして、一人一人の「良き隣人」としての行動が基地と地元との良好な関係の維持発展、基地の安定的運用にとって重要であることを強調し、理解を求めました。



(写真：海兵隊提供)



## 令和2年度日米共同統合防災訓練（O2TREX）

令和3年2月12日（金）及び13日（土）、令和2年度日米共同統合防災訓練（O2TREX）が実施されました。

日米共同統合防災訓練は、南海トラフ地震発生時における自衛隊、在日米軍、関係省庁、関係地方公共団体等の連携による震災対処能力の維持・向上を図ることを目的として、平成25年度から実施されており、本年度で7回目の実施となりました。

本年度は、自衛隊から人員約830名、陸上自衛隊のUH-1、海上自衛隊のエアクッション艇、輸送艦「しもきた」、航空自衛隊のC-1などが、在日米軍から人員約60名、在日米陸軍のUH-60、在日米空軍のC-130Jなどが参加し、徳島県及び高知県において、救出・救助訓練、救援物資の輸送訓練等が実施されました。



UH-1（陸上自衛隊）による救出・救助訓練



エアクッション艇（海上自衛隊）による部隊展開訓練



救援物資を投下するC-1（航空自衛隊）



UH-60（在日米陸軍）による救出・救助訓練

当局は、海上自衛隊徳島航空基地に設置された現地統裁本部等に職員を配置し、訓練に係る情報収集、関係自治体への必要な情報提供等を実施しました。

訓練の実施に当たっては、日米両部隊とも安全面に十分配慮し、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、期間中、事件・事故もなく無事終了しました。



現地統裁本部（海上自衛隊徳島航空基地）



部隊展開状況等の情報収集を行う職員





## 島根県国民保護共同訓練

島根県が主催する令和2年度島根県国民保護共同訓練が、令和2年12月16日に島根県安来市、翌17日に同県出雲市において、国民保護法並びに島根県及び開催市の国民保護計画に基づき、消防庁、島根県、開催市及び関係機関等と共同して実施されました。



消防庁の講演（安来市）



図上訓練（安来市）

訓練の内容としては、両市において総務省消防庁国民保護運用室長の講演及び図上訓練（図上における避難実施要領の検討等）が実施され、16日に行われた安来市での訓練には、当局美保防衛事務所からも職員が参加し、講演の傍聴及び図上訓練の参観を行いました。



## 中国四国防衛局防災応急対処訓練

当局管内における大規模災害発生を想定した中国四国防衛局防災応急対処訓練を、令和3年2月に実施しました。

訓練は登庁訓練と実動訓練に分けて実施し、登庁訓練では、全職員を対象に勤務官署から徒歩でおおよそ30分の範囲内の公共交通機関が途絶し、地震被害、水害等が発生しているとの想定の下、職員自らが防災ハザードマップを参考に出勤可能な経路を選択して、徒歩による登庁訓練を実施しました。



事前教育



実動訓練（局対策本部設営）

また、実動訓練は、訓練前日に局職員に対し、南海トラフ対処等を念頭に事前教育を実施した上で、訓練当日は、局対策本部の設営や関係する県への連絡員の派遣等に必要な携行品の確認等の演練を実施しました。

# 小型無人機等飛行禁止法に基づく対象防衛施設の指定について

## ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている  
自衛隊施設/米軍施設その周辺地域（周回約300m）  
の上空におけるドローン等の飛行は、  
原則として禁止されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。  
●警察官等による安全確保措置  
●最大懲役1年/罰金50万円

## Drone Regulation Notice

Drone flights are prohibited over and within approx. 300-meter  
radius of the designated Self-Defense Forces /U.S. Forces  
facilities under the Act on Prohibition of Flight of sUAS(Drones).

If a person illegally flies drones,  
police officers, etc. may take necessary measures for security.  
The person may be punished by the Government of Japan  
by imprisonment of up to one year or a fine of up to 500,000 yen.



ドローン使用禁止  
NO DRONE ZONE  
\* このほか、航空法上の無人航空機の飛行禁止区域においてドローン等を飛行させる場合、空域に  
ドローン等を飛行させる場合には、別途、国土交通大臣の許可が必要となります。

対象防衛施設周辺および飛行をさせたい場合の手続の詳細については、動画HPを  
ご覧ください。  
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>

防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

本件に係る詳細は、防衛省のホーム  
ページをご参照ください。



<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>

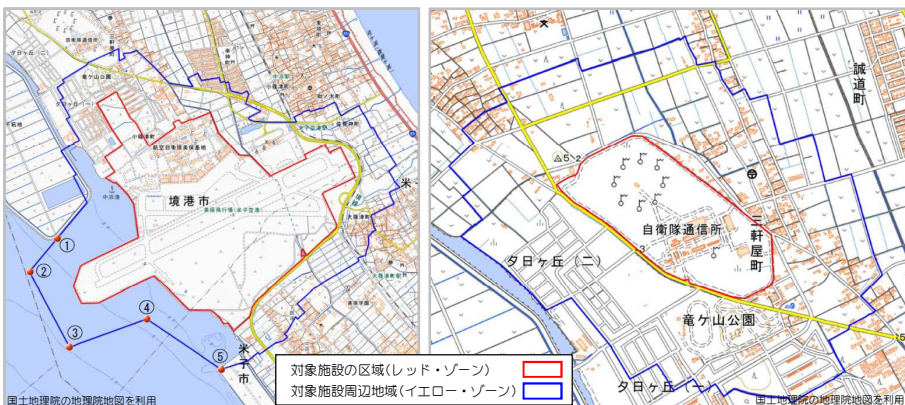
防衛省は、重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等  
の飛行の禁止に関する法律（平成28年法律第9号）に基づき、  
対象防衛関係施設について順次指定を行ってきているところ  
ですが、令和2年12月17日、新たに、13の施設を指定する  
旨の告示をしました。

このうち、当局管内においては、航空自衛隊美保基地及び情  
報本部美保通信所の2施設が新たに指定されました。

対象防衛施設及びその周辺の地域の上空における小型無人機  
等（ドローン等）の飛行は原則禁止であり、飛行を行おうとす  
る場合には施設管理者の同意を得る等所定の手続が必要です。

航空自衛隊美保基地

情報本部美保通信所



施設管理者：美保基地司令  
問い合わせ先：0859-45-0211

施設管理者：美保通信所長  
問い合わせ先：0859-45-0211

# 米軍再編に係る航空機訓練移転について

米軍再編に係る航空機訓練移転については、「再編の  
実施のための日米ロードマップ（平成18年5月）に基  
づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場の周辺地  
域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年  
度以降、実施しています。

訓練移転元の米軍飛行場の嘉手納、岩国及び三沢飛行  
場から、訓練移転先の千歳、三沢、百里、小松、築城及  
び新田原の各自衛隊基地並びにグアム等への訓練移転を  
実施しており、岩国基地周辺における航空機騒音等の負  
担軽減に寄与しています。

岩国基地からの訓練移転実績（平成29年度～令和2年度）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
訓練移転先	百里	1回	1回		
	三沢		1回	1回	
	グアム等	1回	3回	4回	1回
訓練移転回数		2回	5回	5回	1回
訓練参加機数		14機程度	65機程度	74機程度	12機程度

※令和2年度においては、令和3年2月3日～3月9日にかけてグアム等で実施







## 米海兵隊岩国航空基地の 新型コロナウイルスに対するワクチン接種状況

米海兵隊岩国航空基地においては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めており、感染状況に応じて厳しく外出制限や行動制限を課すなど、様々な対策をとっています。

同基地においては、本年1月26日及び27日に第1回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が行われ、爾後、米国本土よりワクチン到着後、計画的に接種が行われています。

ワクチン接種は、基地内の体育館において、受付、接種場所等、エリアを分けて一定の距離を確保した上で行われています。下記は、本年2月26日、ディダムス少佐（米海兵隊岩国航空基地報道部長）の案内の下、ワクチン接種状況について視察を行ったものです。

(2021.2.26. 米海兵隊岩国基地：体育館)



防衛省としては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止は、在日米軍の即応性維持を含め我が国の安全保障上も重要な課題と認識しており、引き続き日米間で緊密に連携してまいります。



(受診者チェック・問診リスト記入後順番待ち)



(ワクチン接種前の事前説明)



(ワクチン接種後の経過観察待ち)



## 中国四国防衛局の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

中国四国防衛局では、新型コロナウイルス感染防止対策として、飛沫防止措置の保護シート、交替制勤務、テレワーク、また、執務室の密集を避ける観点から、会議室に適切な距離を確保の上、PC端末を用意するなど、業務の継続性と感染拡大防止に取り組んでいます。



(会議室：臨時執務室)



(局長室：飛沫拡散防止)



(総務課：飛沫拡散防止)





# 日米親善リレーマラソン2020 in 岩国

令和3年2月28日、愛宕スポーツコンプレックス（山口県岩国市）において開催された「日米親善リレーマラソン2020 in 岩国」に、中国四国防衛局総勢14名の職員が参加し、岩国市民や個人参加した市内在住の米軍関係者とともに、爽やかな汗を流しました。

「日米親善リレーマラソン2020 in 岩国」は、岩国市主催により今回で4回目の開催になります。本大会は、1本の襷をつなぎ、共にゴールを目指すことで家族や仲間を大切にする心を育み、日米両国が参加することで交流の場を創出し、お互いの絆を深めることを主旨に開催されました。

大会当日は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、例年より規模を縮小し、競技時間の短縮、スタートの密集を避けるなど、岩国市民のボランティア方々の御支援の下、当局職員も参加できましたことを心より御礼申し上げます。



当局は「C S D B (Chugoku-Shikoku Defense Bureau)」としてエントリーし、14名の職員は襷をつなぐ思いを一つに、ONE TEAMとし完走致しました。（怪我がなくて良かったです。）

本大会の開催主旨を改めて体感する機会となり、今後とも地域調和に心掛けてまいります。



## 【防衛省の取組】

米海兵隊岩国飛行場において、平成21年(2009年)から進めてきました在日米軍再編に係る施設整備につきましては、地元の皆様のご理解とご協力の下、昨年(令和2年(2020年))2月で全ての施設の整備が完了しました。

愛宕山地区は、家族住宅のほか、運動施設としての野球場（絆スタジアム）、陸上競技場（55フィールド）、ソフトボール場、テニスコート、バーベキュー施設及び文化交流施設（ロータスカルチャーセンター）などを整備しました。

愛宕山地区の運動施設は、「愛宕スポーツコンプレックス」と呼ばれ、日米が共同で利用する施設として、リレーマラソンやフリーマーケットが開催されるほか、高校野球や陸上競技大会が開催されるなど、地元の皆様にも親しまれ広く利用されています。



野球場（絆スタジアム）  
約8,000人収容可能、  
両翼100m、センター122m、外野天然芝





そのだ なおき  
海上自衛隊 呉地方総監 園田 直紀 海将 御挨拶



昨年12月22日付で第46代海上自衛隊呉地方総監を拝命しました園田です。皆様にご挨拶を申し上げます。  
呉地方総監として、歴史ある呉の地において勤務できますことは、大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。また、皆様には平素から自衛隊の活動に対して御理解、御協力を賜っておりますことを、深く感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの感染状況が、予断を許さぬ中ではありますが、部隊は「精強・即応」を合言葉に、日々、不測事態への即応態勢を維持しつつ、教育訓練、各種業務を行っています。特に近畿から四国、九州までの、広く太平洋を含む地域の警戒監視や災害対応を担う責任者として、国民の皆様が安心して生活できるよう、より一層、任務に邁進する所存です。皆様におかれましては、今後とも引き続き御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。



(園田総監着任)



(呉地方総監部)

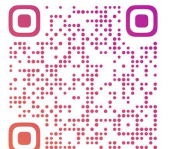
呉地方総監部公式SNSは以下のQRコードでご覧いただけます。



H P



twitter



instagram



いしまき よしやす  
海上自衛隊 練習艦隊司令官 石巻 義康 海将補 御挨拶



令和2年12月22日に練習艦隊司令官を拝命した石巻です。皆様には平素から練習艦隊に対する御支援、御協力を賜り、感謝申し上げます。

練習艦隊は、直轄艦である練習艦「かしま」、第1練習隊の練習艦「しまゆき」、「せとゆき」及び「はたかぜ」により編成され、洋上での海上実習、国内外の各寄港地研修や人的交流を通じ、未来の海上自衛隊を担う幅広い視野を持った幹部自衛官の育成を主な任務としています。

近年は、科学技術の急速な発展も相まって様々な物事が急速に変化する時代にあり、あらゆる状況に柔軟に対応することが求められています。海上での訓練だけでなく各地での研修等、あらゆる機会や経験を通して柔軟な視点を持った幹部自衛官の育成を目指してまいります。

引き続き皆様の御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



防火訓練を実施する実習幹部



日米共同訓練



操艦訓練に臨む実習幹部





# 海上自衛隊 幹部候補生学校長 やぎ こうじ 八木 浩二 海将補 御挨拶



令和2年12月22日付で海上自衛隊幹部候補生学校長を拝命した八木将補です。本校は海上自衛隊の聖地とも言える広島県の江田島に所在しており、着任時に学校の玄関である表棧橋に船で到着した瞬間、整然とした幹部候補生による出迎え、昔から変わらない赤レンガの景色に、自然と背筋が伸びたことを覚えています。

本校の教育は、自衛官として必要な心構え、海上自衛官として必要なシーマンシップ、幹部自衛官として必要なリーダーシップを身に付けることに重心を置いています。コロナ禍ではありますが、幹部候補生は日々の生活や訓練に全力で取り組んでおります。

良き伝統を受け継ぐとともに、変化への適合を図り、新しい時代にふさわしい幹部自衛官を育成すべく幹部候補生教育にまい進する所存です。どうぞ、皆様方からの引き続きの温かいご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



(着任訓示)



(幹部候補生学校庁舎)



(卒業式典)



## 令和2年度 局長感謝状贈呈 (米子市長)



(伊木隆司 米子市長)



令和2年12月11日、当局局長は伊木隆司米子市長に対し、局長感謝状を贈呈しました。伊木市長におかれては、就任以来、航空自衛隊美保基地や陸上自衛隊米子駐屯地、美保分屯地に係る当局の施策に御理解・御協力を頂き、その安定的な運用に寄与してられました。

また、各種イベントへの自衛隊の参加を積極的に受け入れて頂くなど、自衛隊と地元住民との良好な協力関係を築くことに尽力され、自衛隊の活動に対する地元住民の理解の促進にも多大な貢献をされてきたことから、このたび、当局局長から感謝の意を表したものです。





## 中国四国防衛局 津山防衛事務所のご紹介



津山防衛事務所は岡山県の県北、津山市に所在しており岡山県を管轄しています。主な防衛施設として、勝田郡奈義町と津山市に日本原中演習場が所在しており、一般訓練、射撃訓練等が行われています。

平成30年度、令和元年度には米軍単独訓練が行われ、岩国基地所属の海兵隊の後方支援部隊がヘリパッド敷設訓練、機関銃射撃訓練、一般訓練を実施しました。

防衛局としては、連絡員の配置、演習場外周の巡回等を実施し、当事務所も職員総出で支援を行いました。地域の皆様の安全・安心を第一に考え、地元との覚書を遵守し、訓練期間中の対応を取らせて頂きました。事故等なく終了したことについては地元の皆様方の御理解・御協力があったのものと考えており、深く感謝申し上げます。次回以降の訓練が計画された際にも、地域の皆様の安全・安心のため、最善を尽くす所存ですので、引き続きよろしくお願ひします。

さて、岡山県津山市、奈義町の豆知識として食文化についてお話しします。

津山市は、ホルモン焼きうどんが名物料理であり、最近ではご当地グルメ「ホルモンうどん」として売り出して、町の活性化を試みています。津山市のホルモンうどんは2011年のB-1グランプリで第2位を獲得したそうです。

次に、奈義町の名産は「なぎビーフ」と呼ばれる岡山県奈義町の指定農場で生産された牛肉で、協会が定めた指定配合飼料を給与と黒豆（作州黒）を給与した牛で、公益社団法人日本格付協会格付員により格付されたものです。なぎビーフはこの血統を大切にしながら、誰が食べても「美味しい～」と言っていただけの赤身と脂のバランスの良い和牛肉をお届けすることです。

岡山県にお寄りの際は、ホルモンうどんを食べて、帰りになぎビーフを買って帰るのはいかがでしょうか。



ホルモンうどん



なぎビーフ



## 中国四国防衛局 職員日記（津山防衛事務所）



(津山防衛事務所 小寺 潤)

これまでの神奈川県、広島県での勤務を経て、平成31年4月から私が生まれ育った岡山県に所在する津山防衛事務所で働くことができ、大変嬉しく思っておりますが、慣れ親しんだ岡山の水で作られたお米やお酒が特に美味しいせいか、この2年で7キロも体重が増え、どうしたものかと悩む今日この頃です。

こんな私も防衛省に入省し、早10年が経過しました。職務の大半を防音対策業務に従事してきたのですが、津山防衛事務所での職務は、

自衛隊及び米軍の訓練に係る関係自治体等との連絡調整や事務所職員の給与や旅費等に係る庶務業務など多岐にわたりますので、知らないことや戸惑いと苦勞も多く勉強の毎日ですが、自身の成長を日々実感しています。

引き続き、座右の銘である「懇切丁寧」を忘れることなく、皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので今後ともよろしくお願ひ致します。





## 中国四国防衛局 職員日記 (総務部)

令和2年から3年にかけての年末年始は、コロナ禍の影響で、帰省を自粛された方も多かったと思います。私も実家の熊本に帰れず、数十年ぶりに一人きりの正月を迎えました。

気持ちよく正月を迎えるため、普段の年ならやることのない大掃除をやってみました。掃除をしつつ、大阪で勤務している際に知り合いになったお坊さんに教えてもらった本の一節をふと思いました。そのお坊さんが言うには、「禅宗では、為すべきことの最初として掃除だと教えられます。掃除とは自分の心を磨くために行われるもので、禅の修行の根本をなすものです。」との趣旨であったと記憶しています。そのような言葉を思い出しながら、トイレと風呂場など水回りについては念入りにひたすら目の前の作業に集中して掃除に取り組みました。どれほどきれいになったかは分かりませんが、ただ磨き終わった後の清々しさは気分のいいものでした。清々しさを味わえるなんて日常生活ではあまりないことですし、落ち着いた心持ともなります。禅の修行の根本というの、なんとなくわかる気がします。心を落ち着かせ、心が整理された後であれば、自分を省みる余裕もできて、本格的な修行には入れるということでしょうか。



(会計課 松野 広行)

掃除は日常生活の中で無心になれる貴重な時間ですし、このコロナ禍の中、不用不急の外出が求められる今こそ、掃除を面倒がらずに、5分程度でも無心になって目の前の作業に集中すれば、心も整い、家もきれいになり、一石二鳥の効果が得られるかもしれません。

早くコロナが掃除されて、人々の心も落ち着き、清々しい気持ちで迎えられる日常生活が戻ってきてほしいと願うのみです。



## 企画部の組織変更について

令和3年4月1日、企画部の「業務課」と「施設補償課」を統合し、「業務課」となります。緊急時の課機能の冗長性の確保等を目的とするものです。これにより、企画部は現在の7課2室から、6課2室となります。これまでの「業務課」及び「施設補償課」の業務は、新たな「業務課」にそのまま引き継がれます。

また、企画部次長について、これまで1名体制であったところ、1名増員を行い2名体制とし、業務遂行体制の充実化を図りました。

